

御所市の現状 (地域、交通)

1. 地域の現状

(1)人口の状況

(2)高齢化の状況

2. 交通の現状

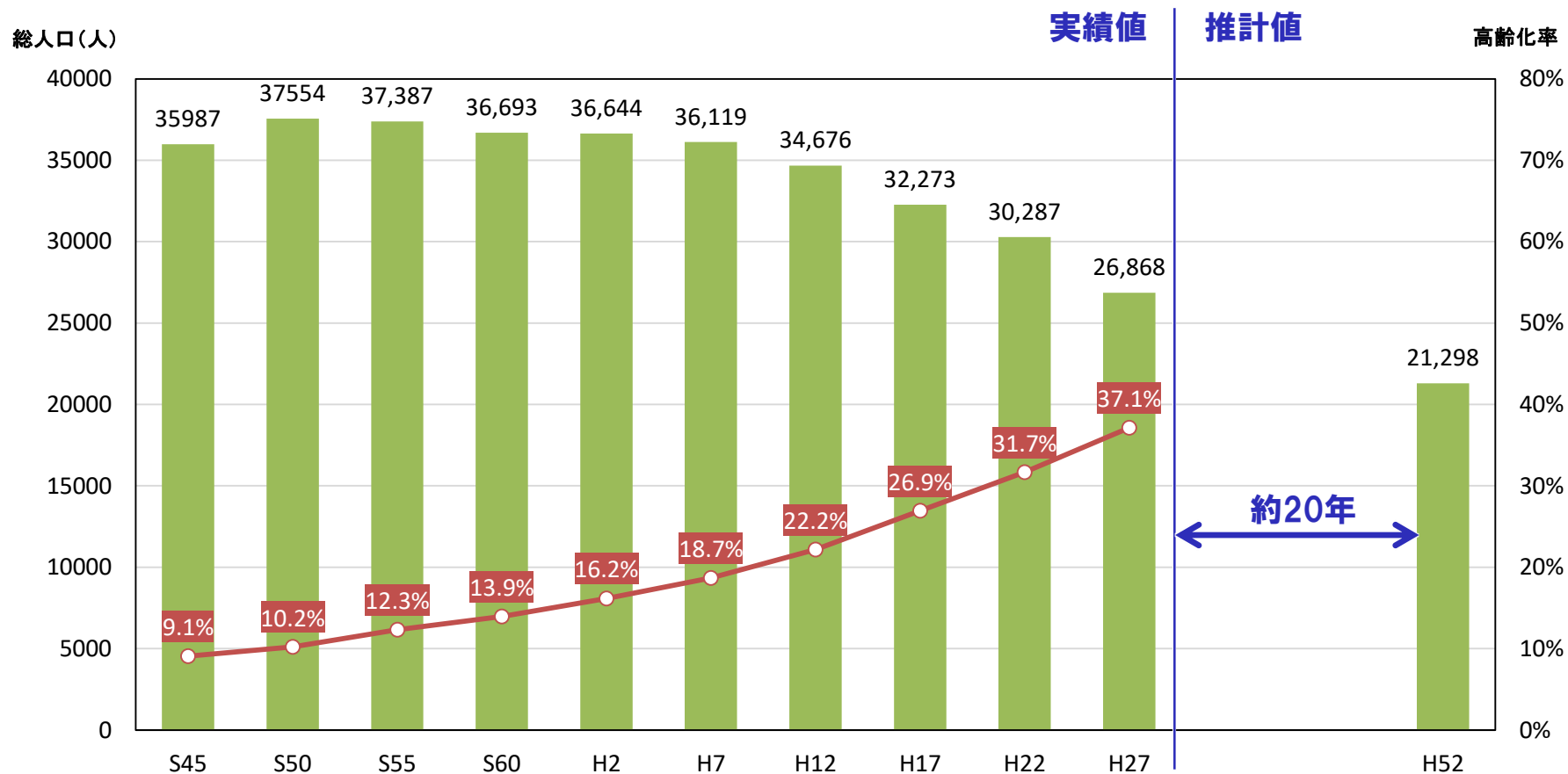
(1)人の動き

(2)公共交通の状況

1. 地域の現状 (1)人口の状況

1)人口推移

・御所市の人口は、昭和50年(43年前)の約3万8千人をピークに減少し、平成27年には約2万7千人となっている。今後、出生率の向上策及び転出抑制策により、平成52年(2040年、22年後)に約2万1千人を目指している。



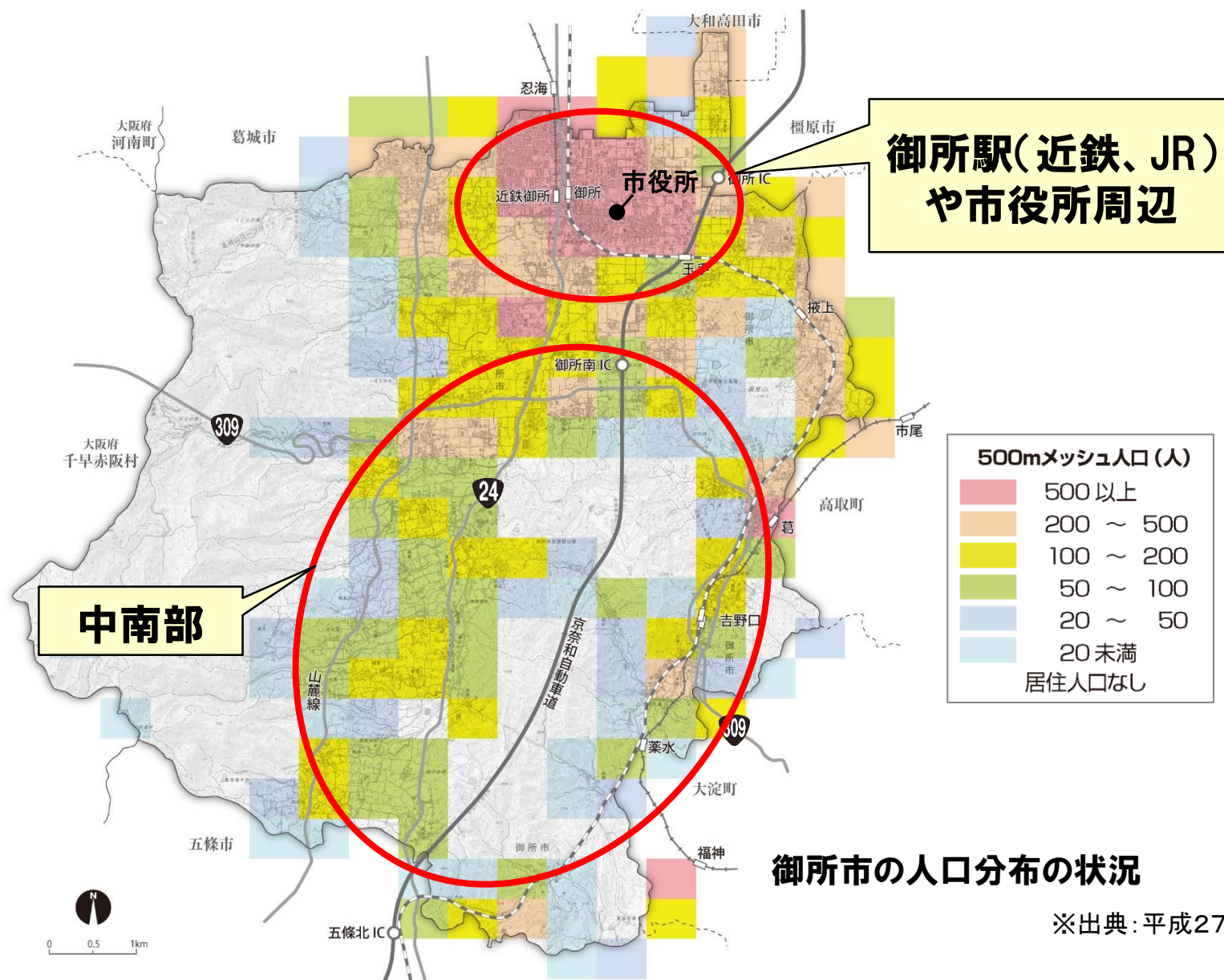
御所市の人口の推移

※出典:平成27年までは国勢調査、平成32年以降は御所市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年12月)

1. 地域の現状 (1)人口の状況

2)人口分布の状況

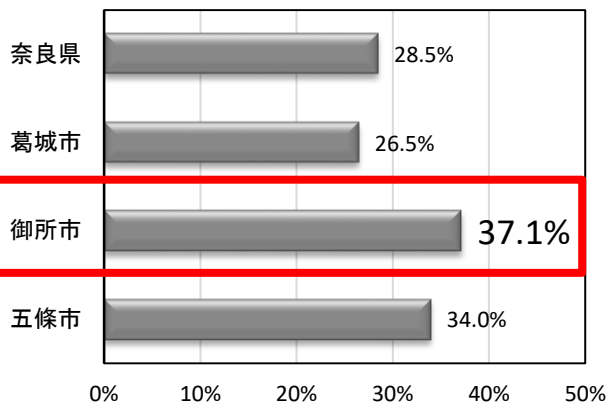
- 人口は市の北部に集中しており、特に、御所駅(近鉄、JR)や市役所周辺に多く分布している。
- 一方で、市の中南部の人口は少なく、国道24号、山麓線、鉄道沿線に分布している。



1. 地域の現状 (1)人口の状況

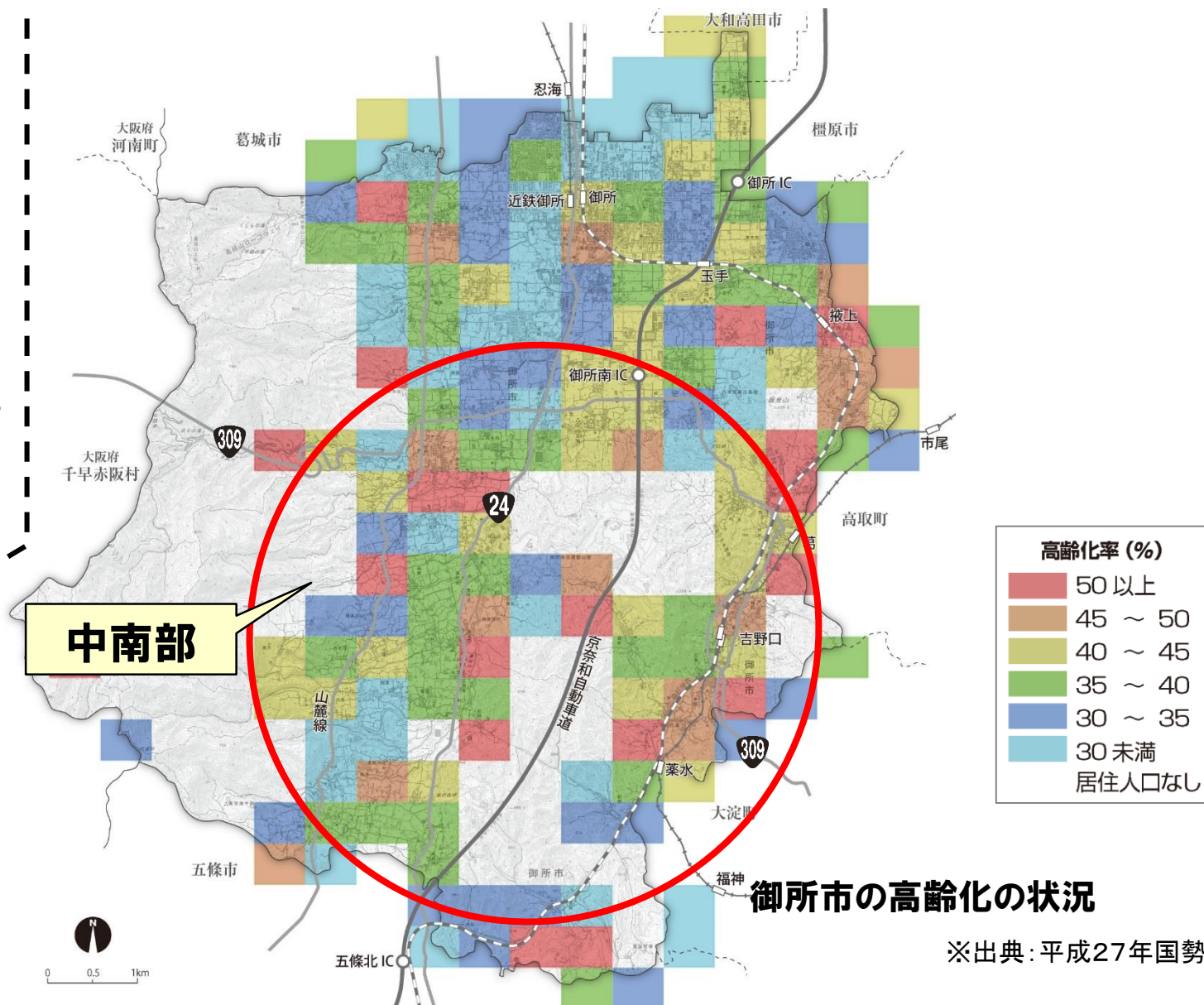
3)高齢化の状況

- ・御所市の高齢化率は、奈良県又は周辺他市と比べて高い状況である。
- ・市内の高齢化の状況は、市の北部に比べて、中南部に高齢化率が高い地区(40%以上)が多くある。



奈良県及び周辺他市の高齢化率

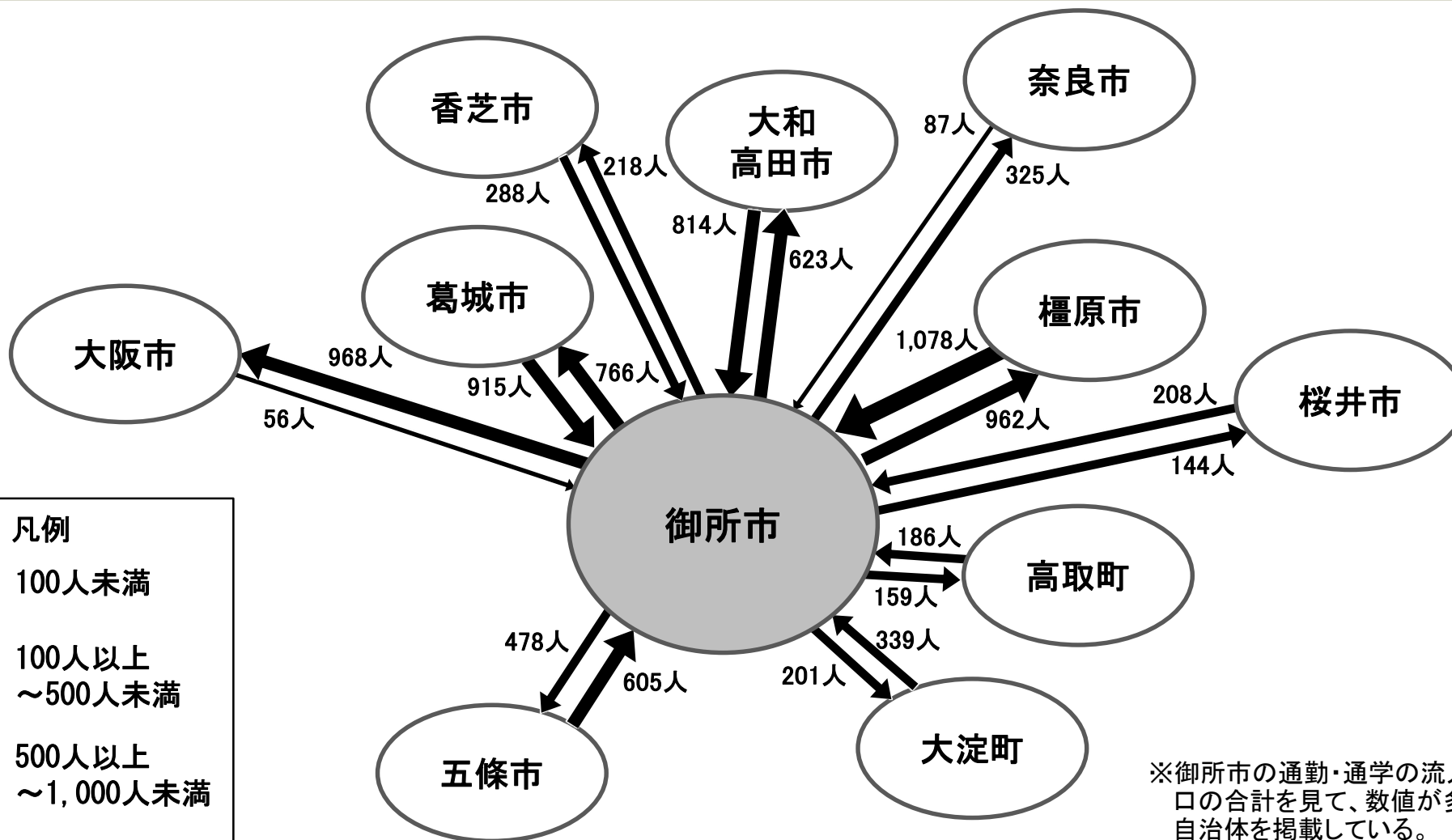
※出典：平成27年国勢調査



2. 交通の現状 (1)人の動き

1)通勤・通学の流入・流出状況

- 平成27年の御所市の通勤・通学の流出人口は6,884人、流入人口は5,892人であり、流出人口の方が約1.16倍である。
- 流出が最も多いのは「大阪市」、流入が最も多いのは「橿原市」である。



御所市の流入・流出状況

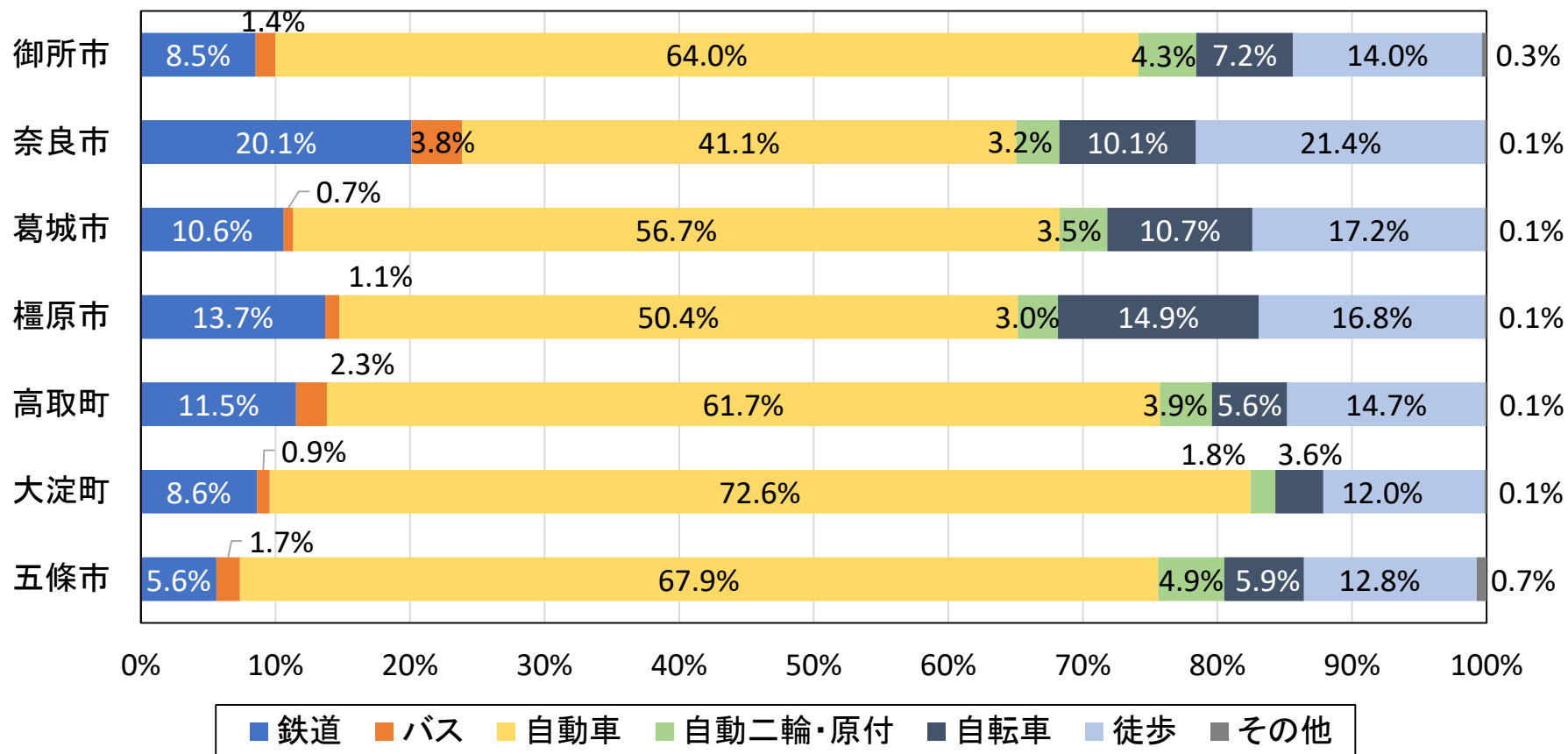
※御所市の通勤・通学の流入・流出人口の合計を見て、数値が多い10の自治体を掲載している。

※出典：平成27年国勢調査

2. 交通の現状 (1)人の動き

2) パーソントリップ状況(平日)

- ・御所市の住民の移動手段は、自動車の割合が64%と最も高い。
- ・一方、公共交通(鉄道、バス)の利用割合は約9.9%と奈良県内の隣接自治体(葛城市、橿原市、高取町)と比べ低い。



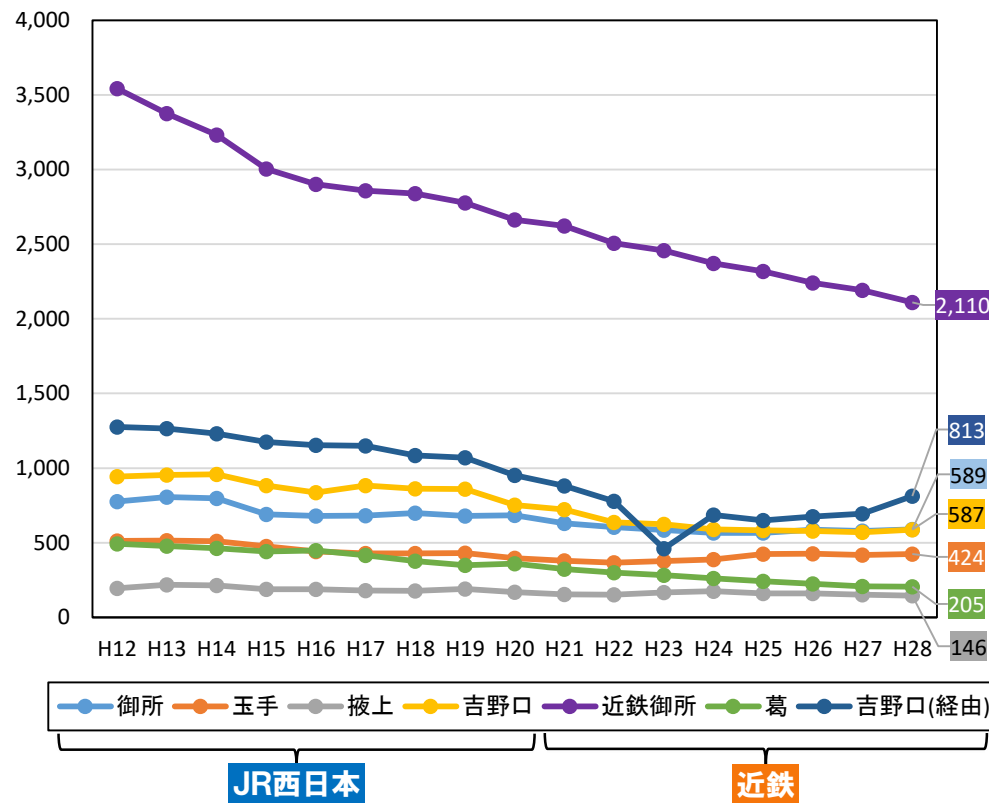
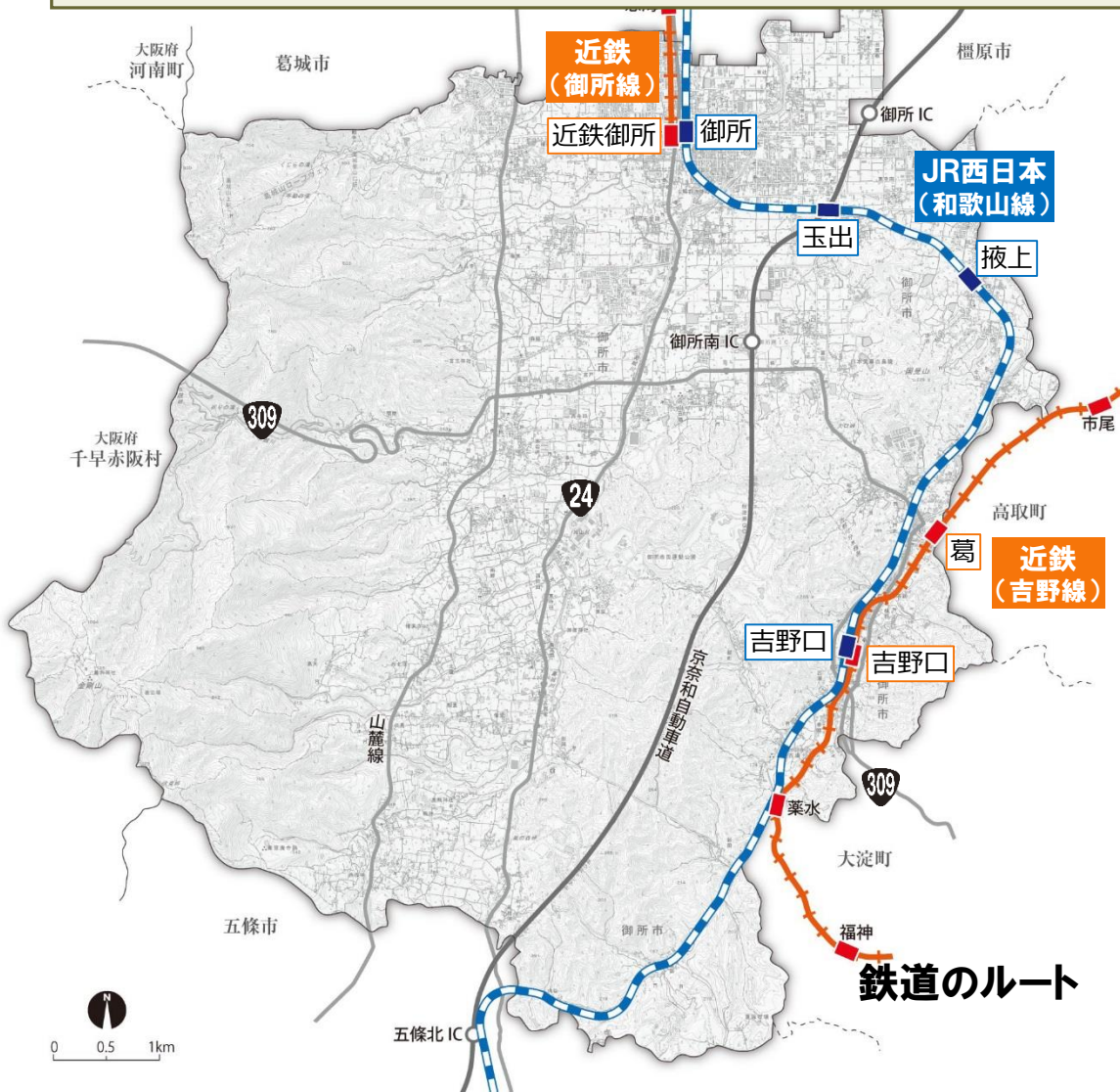
パーソントリップ状況(平日)

※出典: 第5回(平成22年)近畿圏パーソントリップ調査結果 (京阪神都市圏交通計画協議会)

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

1) 鉄道の概要

- ・御所市では、「近鉄」と「JR西日本」の鉄道があり、近鉄は市北部と南東部を、JR西日本(和歌山線)は市東部を通過し、近鉄は3駅、JR西日本は4駅ある。
- ・市内の鉄道駅の乗降客数は、近鉄御所駅が1日あたり2,110人(平成28年)と最も多いが、16年前(平成12年)と比べると約6割まで減少している。



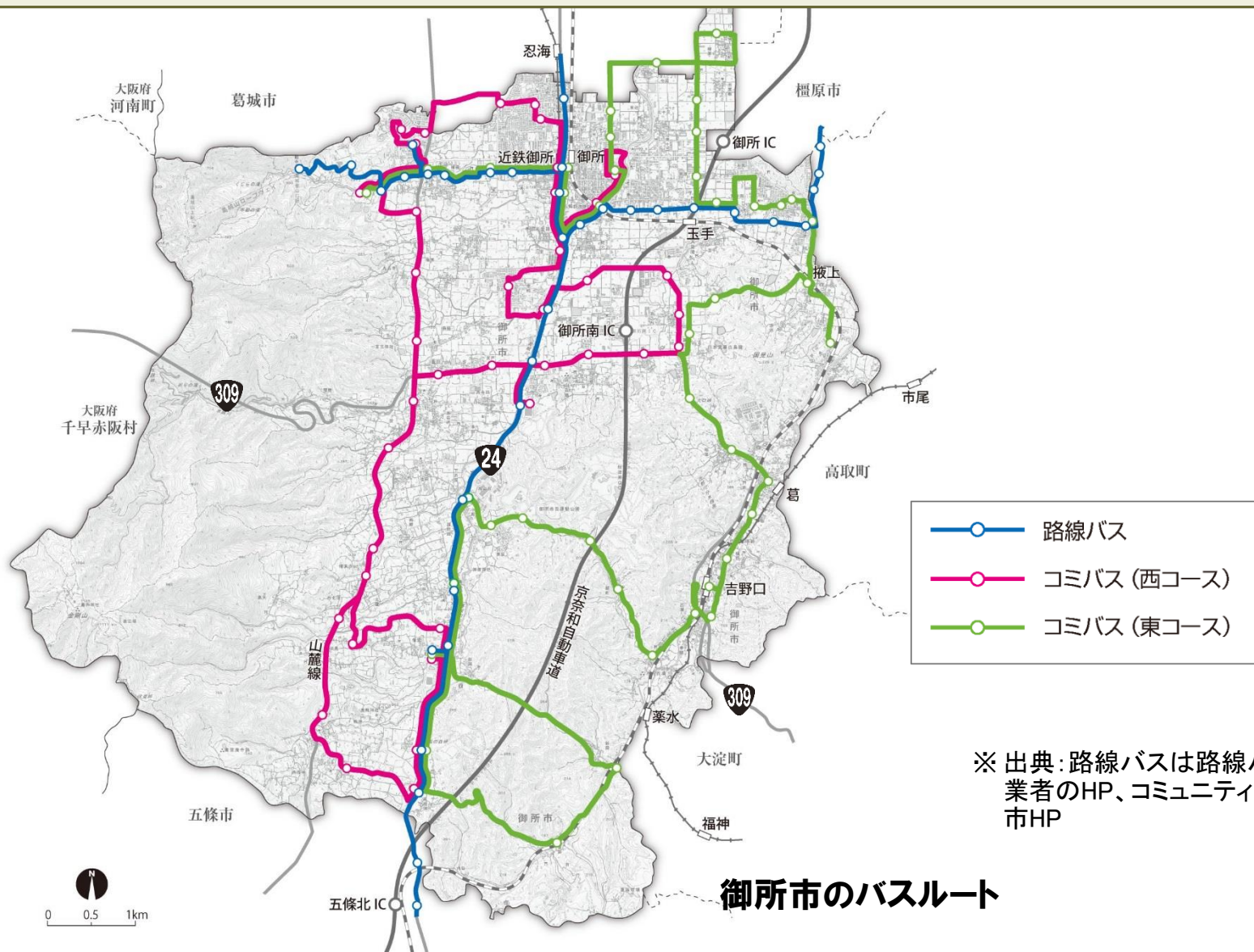
鉄道駅の乗降客数の推移

※出典: 奈良県統計年鑑

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

2)バスの概要

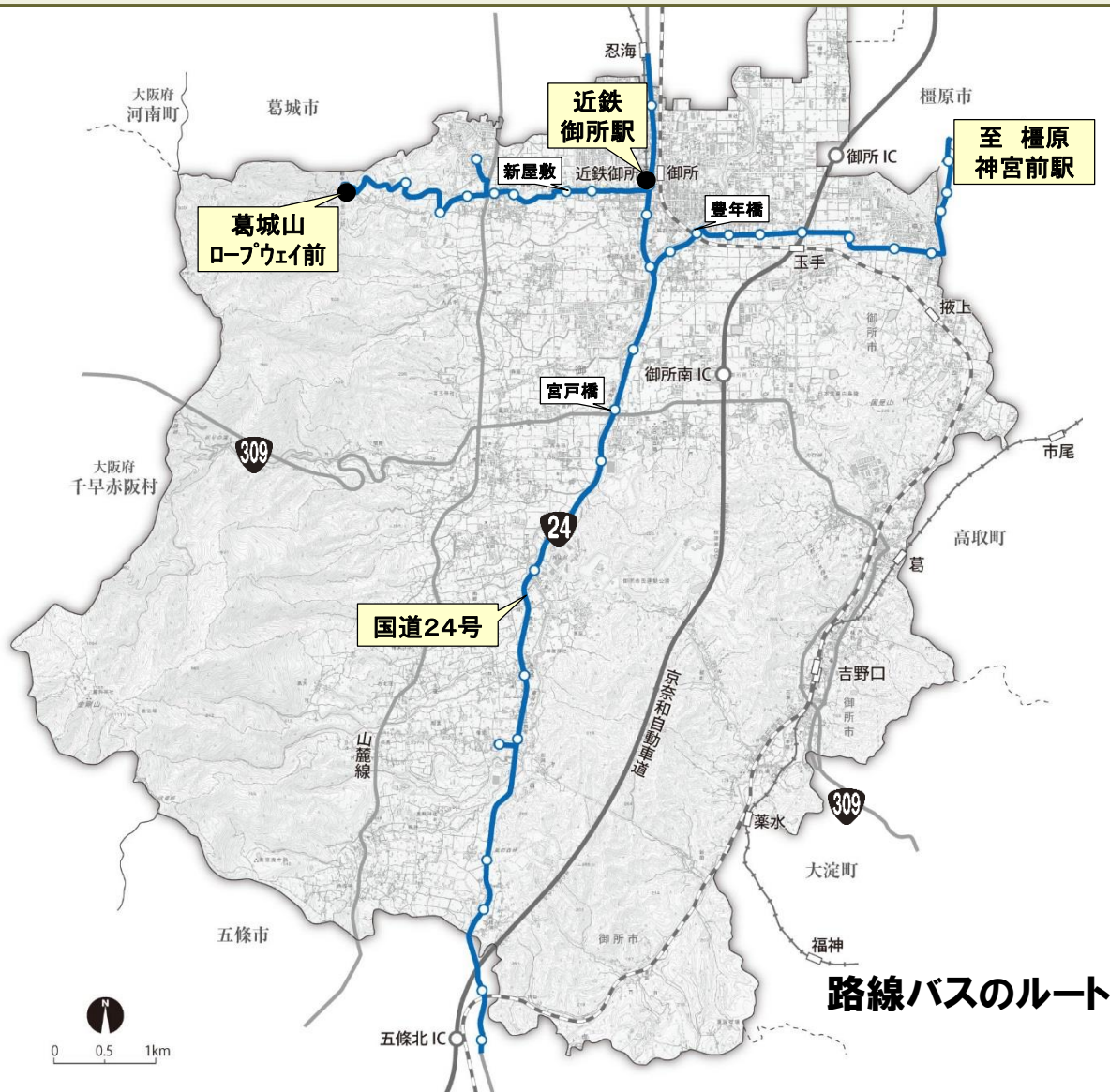
- ・御所市を運行するバスは、「路線バス」と「コミュニティバス」がある。
- ・各ルートは以下の図のように、市内の鉄道駅、市役所の公共施設、商業施設、病院、かもきみの湯等をバス停として、国道24号、山麓線等をルートして運行している。



2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

3)路線バスの概要

- ・路線バスは「奈良交通」が運行している。
- ・主な運行ルートは、国道24号を南北方向に、1日30便運行する区間と、近鉄御所駅を起・終点に、西側の葛城山ロープウェイ前と東側の橿原神宮前駅の間で運行している。



【運営主体】

- ・奈良交通

【運行日】

- ・毎日

【運行便数】 ※平日の往復便数

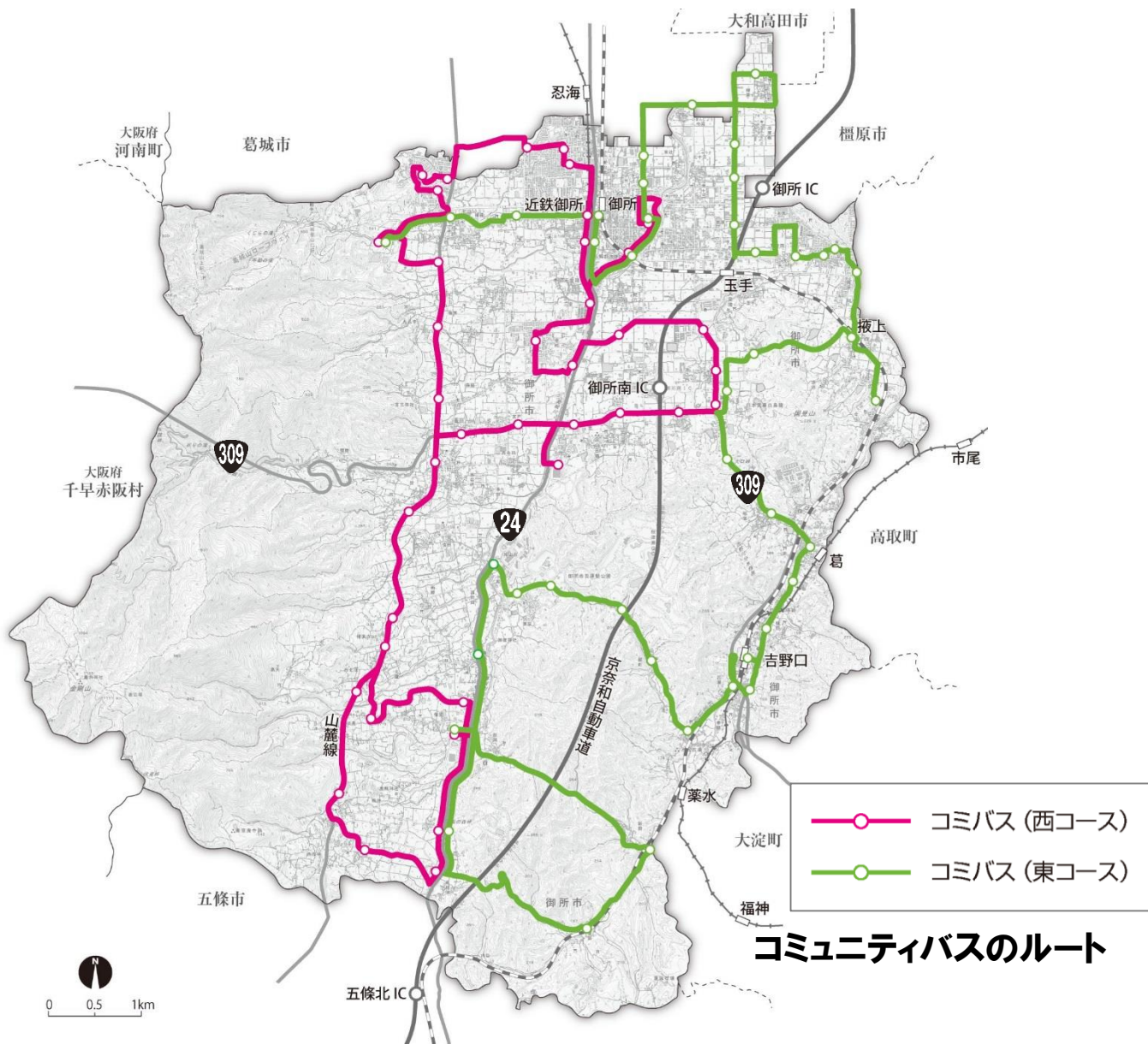
区間	便数
国道24号 (御所駅から南側)	30便 (宮戸橋バス停)
近鉄御所駅～ 葛城山ロープウェイ前間	12便 (新屋敷バス停)
近鉄御所駅～ 橿原神宮前駅間	11便 (豊年橋バス停)

※出典:奈良交通HP

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

4)コミュニティバスの概要

- ・コミュニティバスは、市が交通事業者に委託して運行している。
- ・主に市の西側(山麓線等)を運行する西コースと、市の東側を運行する東コースがある。



コミュニティバス

【運営主体】

・御所市

【運行日】

・毎日

【運賃】

・1人1乗車100円 (小学生以下は無料)

【運行便数】

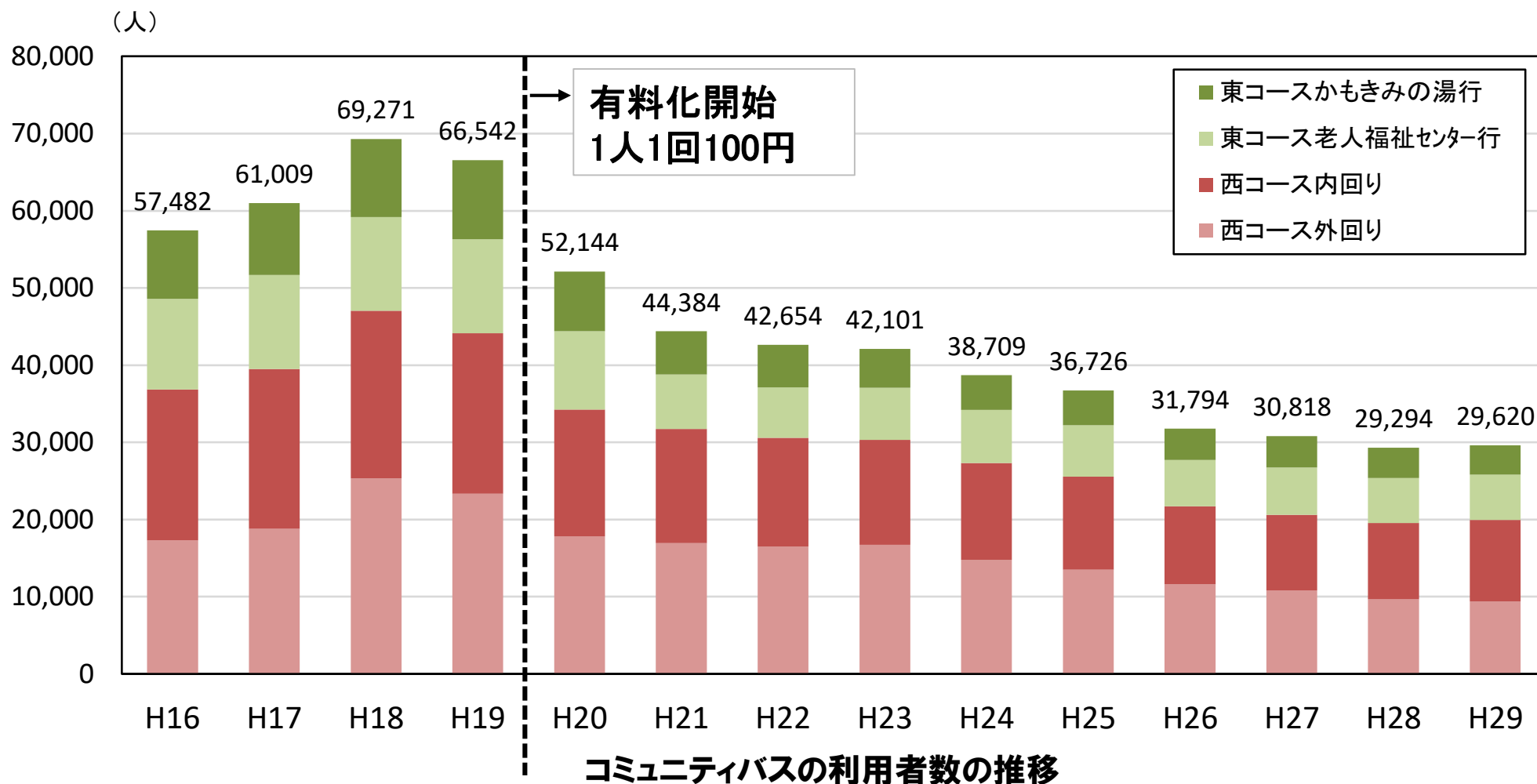
ルート	平日
西コース	6便/日
東コース	6便/日
計	12便/日

※出典:御所市HP

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

5)コミュニティバス (利用者数)

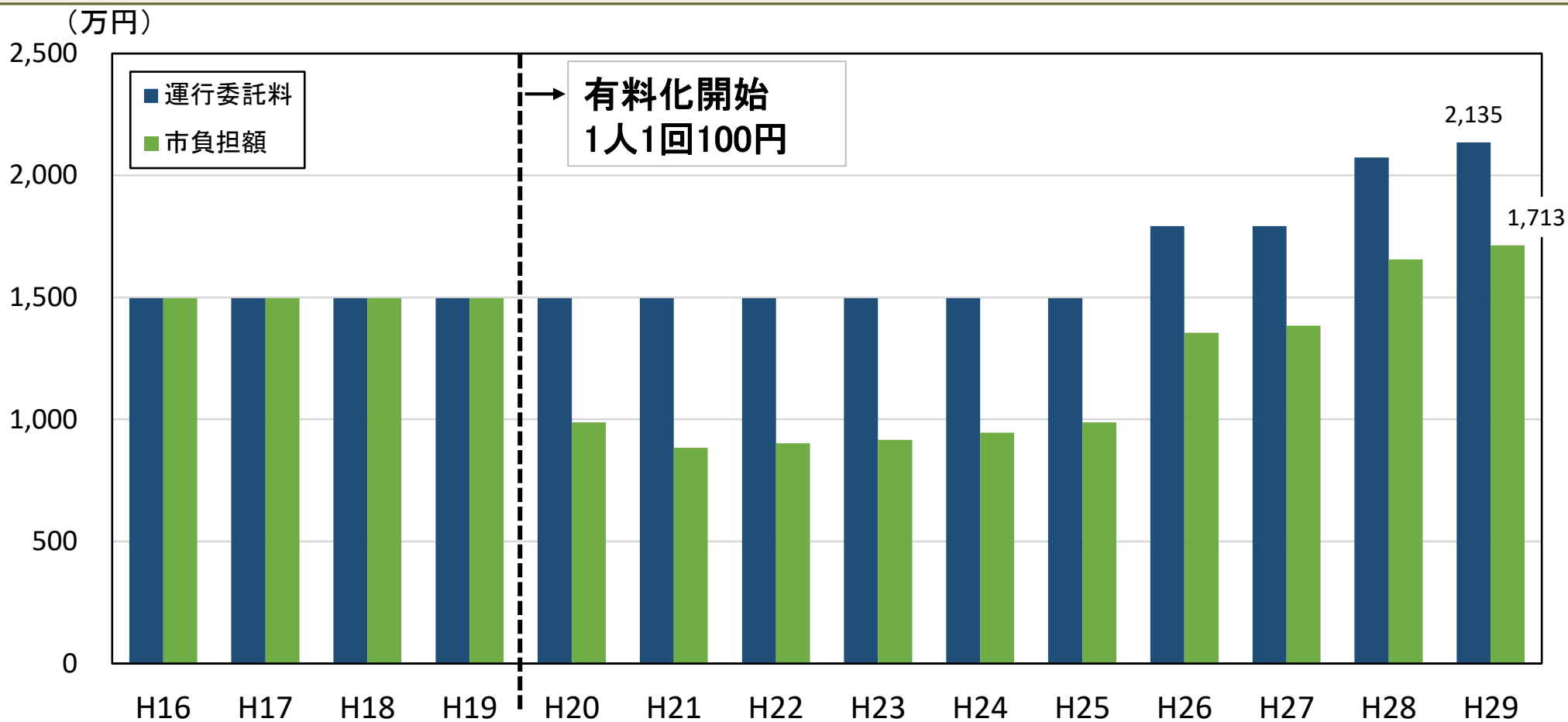
- ・平成29年度のコミュニティバスの利用者は約3万人であった。
- ・利用者数は平成18年度の約6万9000人をピークに減少しており、特に、平成20年度からの有料化(1人1回100円)により大きく減少した。



2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

6)コミュニティバス (運行委託料)

- ・平成29年度のコミュニティバスの運行委託料は約2100万円である。運行委託料は平成18年度から約1500万円で推移していたが、平成26年度以降増加している。
- ・また、市負担額(運行委託料から利用料金及び広告料を差し引いた額)は、平成29年度は約1700万である。



コミュニティバスの運行委託料及び市負担額の推移

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

6)公共交通空白地域

- 公共交通(鉄道、バス)空白地域とは、鉄道駅から半径1km以遠、バス停から300m以遠と設定している。
- 市内の公共交通空白地域は、主に、北部の一部、山麓線と国道24号の間に分布している。

